

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	①② 就職1次内定者率の向上及び就職内定率100%の継続 ③ 国公立大学進学者数の増加 ④ 難関私立大学進学者数の増加
計画名	「夢！実現プロジェクト」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の中期的目標	3. 「志」や「夢」の実現に向けた指導計画の確立 (2) ア. 個々の進路希望に応じた情報提供を適切かつ迅速に行うとともに、進路実現に向けた取組みを実践し、成果を上げる。 * 難関私立大学合格者（H25 13名→H26 12名）を平成29年度には20名以上に。
事業目標	本校のミッションは、多岐にわたる生徒の進路希望（四年制大学、短期大学、専門学校、就職、公務員）に対して、一人ひとりの可能性を引出し、よりよい進路実現を果たすことである。 3年間という限られた時間を最大活用するため、H25より「3年間のトータルキャリアプラン」を作成し、実践してきており、国公立大学入学など確実に成果を上げてきている。そこでさらなる成果を上げるため、下記の強化ポイントを備えた室の整備を行う。
整備した設備・物品(数量)	(1) PF-NOTE本体及びオプション (2) カメラ及び音声ユニット (3) キャスター可動式受講机 (40台) (4) スタッキング式受講用チェア (40脚) (5) 短焦点プロジェクター (6) 電子黒板ユニット (7) 間仕切り兼用可動展示パネルシステム (8) ホワイトボード (9) 可動式鏡 (10) ポータブルマイクシステム
取組みの主体・実施者	(進路実現に向けての主体および実施者) ・ 進路指導部各パート別主体者（大学、専門学校、看護医療系、公務員、就職） ・ 授業力向上支援チーム (取組みの実施者) ・ 進路指導部・授業力向上支援チームを中心とした全教員
本年度の取組内容	・ 旧進路指導室の移設予算確保に時間を要し、移設完了は12月8日（火）と当初予定より遅れた。そのことから、アクティブラーニングルームとしての設置が遅れ 利用開始が12月14日（月）となった。 ・ 設置に向けてアクティブラーニングルームの運用体制は計画的に作成してきたことから、利用開始時より円滑な運用がなされている。それに伴い、生徒利用も継続して続いている。（12月 60名、1月 26名 2月15日までに5名が使用している） ・ 購入したPFノートについては11月末に納品され、12月より授業で使用している。今後はできるだけ多くの教員が使えるよう使用講習会を行い、多岐にわたる活用をめざす。
成果の検証方法と評価指標	① 就職1次内定者率の向上（71%→75%） ② 就職内定率100%の継続 ③ 国公立大学進学者数（0名→3名） ④ 難関私立大学進学者数（15名→18名以上）
自己評価	※（記号説明） 大きく上回った（◎）、上回った（○）、達成できず（△）、実施できず（×） ① 就職1次内定者率の向上（71%→75%→85%）（◎） ② 就職内定率100%の継続（◎） ③ 国公立大学進学者数（0名→3名→0名）（△） ④ 難関私立大学進学者数（15名→18名以上→24名）（◎）
次年度に向けて	1 「アクティブラーニングルームの多目的活用」 ・ AO入試向けの面接指導（PFノートの活用） ・ 就職向けの面接指導（" "） ・ 進路行事（分野別説明会など）で活用 ・ 自習室として活用 →（指標に加え、啓発に努め、1年から3年までの活用人数の増加） 2 「授業でのPFノートの活用推進」 ・ PFノート利用の校内研修会の開催 →（指標に加え、H28利用教員数10名以上をめざす） <計画当初の評価指標> ・ 就職1次内定者率の向上（H23 83%） ・ 就職内定率100%の継続 ・ 国公立大学進学者数（0名→2名） ・ 難関私立大学進学者数（18名→25名以上）